

歯の健康教育 in 神津島

本事業スタートのきっかけは10年前の調査で、神津島の子どもたちのおやつ・ジュース等の摂取率は東京都では高く、むし歯になったことがある子どもが90%もいたことによります。翌年度より、神津島では子どもたちのむし歯予防対策として「フッ化物洗口」が取り入れられ、現在も歯科保健教育と合わせて継続して取り組んでおり、口腔保健の重要性について意識が大きく変わってきました。



神津島ってどんなところ??

人口：1961人

世帯数：836世帯

特産品：新鮮な魚介・ところてん・あしたば など
 (「あたご丸」さんの金目の煮付け、サイコーでした!)



～歯科保健教育の内容～

- 対象者 ・未就園児の保護者、妊婦さん
- ・保育園児、園児保護者
- ・小学校1年生～中学校3年生

幼児、児童、生徒と対象者に合わせて「歯の大切さ」、「噛むことの重要性」、「おやつのととり方」等についての講話をした後、「歯垢染め出し」による汚れの確認とブラッシング指導をおこない、自分でお口をきれいにすることを体験してもらいました。



本事業を初めての担当しましたが、子どもたちの真剣に歯みがきに取り組む姿勢や、子どもの歯を守らねばという保護者の方の視線、保育園の方の日々の努力に感動しました。

今後もしっかり継続して、子どもたちには楽しく「歯の健康」を勉強してもらい、おとなの方にも「お口の健康チェック」など展開できたら…と感じました。 鈴木慧子